プログラムポリシー

本プログラムでは、履修生が自らの専門分野の研究を深く追究するだけでなく、視野を広げ、異分野や新分野にも分け入っていける力を獲得することを目的とします。そのために履修生は、所属研究科・専攻等での専門課程科目に加え、本プログラムが提供する特別科目を履修し、産・官・学の各セクターにおいて、科学技術で社会をけん引できるような人物となることを目指します。

プログラム期間

M2からD3までの4年間のプログラムです。
D1からの履修も可能です。

対象学生

本学理学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、情報科学研究科のいずれかの研究科に所属する大学院生です。

選抜と修了

・博士前期課程1年次の2～3月に入学選抜試験を実施。(書類選考及び面接試験)

・途中の Qualifying Examination(QE)と修了試験に合格し、所属する研究科で博士の学位を取得した学生には「修了証」が授与されます。
(選抜試験、QE は、ユニット単位で行います)

大阪大学理工情報系
オナー大学院プログラム

Since 2020

大阪大学理工情報系オナー大学院プログラム事務局
〒560-0043　豊中市待兼山町 1-1　理学研究科 B101
TEL (06)6850-5293(内線 5293)
E-Mail　honor-jimu@office.osaka-u.ac.jp
https://www.sth.osaka-u.ac.jp

202609



Broaden your horizons!

イノナカノカワズ、タイカイモシロウ！

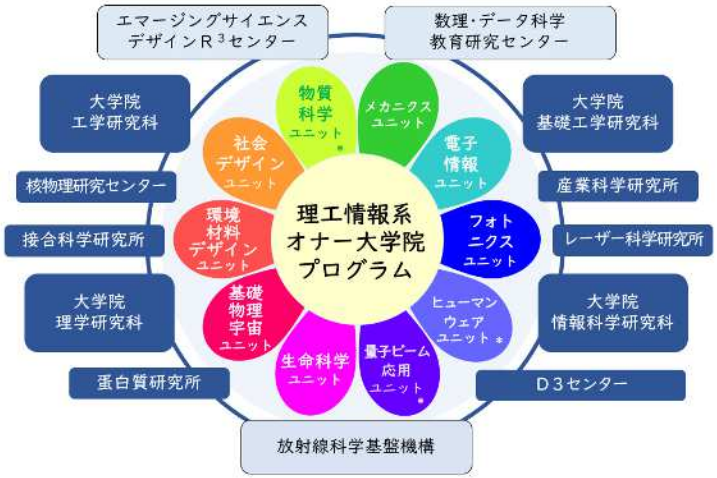
井の中も知らねばダメ。でも外の世界も。

大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士」

ユニットおよび参加部局

理工情報系の全研究科、研究所、センターがタッグを組んで、部局を超えたユニットを構築しています。学生は、いずれか一つのユニットに属することになります。

■電子情報ユニット
■生命科学ユニット
■フォトニクスユニット
■基礎物理宇宙ユニット
■環境材料デザインユニット
■社会デザインユニット
■メカニクスユニット
■物質科学ユニット
■ヒューマンウェアユニット
■量子ビーム応用ユニット



ユニット追加の可能性あり

*物質科学、ヒューマンウェア、量子ビーム応用ユニットは、プログラム内容や募集要項が異なります。

カリキュラム

プログラム修了要件単位数は 10 単位。

・研究室ローテーション(1～3単位)
・国内研修あるいは海外研修(1～3単位)
・科学技術英語科目(2 単位)
・異分野(他専攻・他研究科)科目(2 単位)
・ELSI(倫理・法・社会問題)科目(2 単位)

これらの一部を所属研究科の博士前期課程・後期課程修了要件単位に含めることは可とします。

研究室ローテーション

同一ユニット内の他研究室(他専攻・他研究科等を推奨)に3週間以上滞在して、新しい研究手法、新しい研究課題に取り組みます。これにより、自分の研究室では得ることのできない能力の獲得を目指します。

給付型奨学金制度

博士前期課程2年次学生には年額48万円、博士後期課程学生には年額72万円を、審査のうえ支給します。給付型奨学金は、「学資に充てるため給付される金品」として「非課税所得」となるので、課税対象にはなりません。

♥受給資格

支給年度において、次の各号に掲げる全ての基準に該当することとします。
1)休学をしていないこと。 2)独立行政法人日本学術振興会の特別研究員 (DC)として採用されていないこと。 3)国費留学生として、日本政府(文部科学省)奨学金を受給していないこと。 4)月額10万円を超える給付型奨学金を受給していないこと。

国内研修/海外研修

国内・海外の少なくともどちらかの研修を行うことが必須です。3週間で1単位が認定されます。研修先や研修内容は、事前に担当教員と話し合って決めることができます。博士論文研究に役立つ研修をすることもできますが、自らの研究とは直接関係のない実習や研究を行うことも、視野を広げるうえで重要です。

■国内研修先実績

ヴイストン㈱, オムロン㈱, ㈱オリエンタルコンサルタンツ
京セラ㈱, 住友電気工業㈱, ダイキン工業㈱
㈱島津製作所, 東京エレクトロン㈱, 日邦プレシジョン㈱
日本ベーリンガーインゲルハイム㈱

沖縄科学技術大学院大学, 九州大学, 東京大学
鳥取大学, 北海道大学, 早稲田大学

医薬基盤・健康・栄養研究所, 核融合科学研究所
高エネルギー加速器研究機構, 産業技術総合研究所,
自然科学研究機構 生理学研究所, 東京都健康長寿医療センター
物質・材料研究機構, 理化学研究所, 量子科学技術研究開発機構

■海外研修先実績

タマサート大学(タイ), 国立陽明交通大学(台湾)
上海科技大学(中国), モナッシュ大学(オーストラリア)
ワイツマン科学研究所(イスラエル)

イェール大学(USA), オークリッジ国立研究所(USA)
オレゴン工科大学(USA), ジョンズ・ホプキンス大学(USA)
Scripps 研究所(USA), TreeFrog Therapeutics(USA)
ミシガン大学(USA), ローレンス・リバモア国立研究所(USA)

ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン(イギリス), パドヴァ大学(イタリア)
IAEA(オーストリア), チューリッヒ大学(スイス)
チューリッヒ連邦工科大学(スイス), アーヘン工科大学(ドイツ)
シュトゥットガルト大学(ドイツ), ビーレフェルト大学(ドイツ)
スピンテック研究所(フランス), リヨン高等師範学校(フランス)
フランス国立科学センター ネール研究所(フランス)
ストラスブール大学(フランス), ルーヴェン・カトリック大学(ベルギー)

奨学金とは別に、国内研修、海外研修にかかる費用についても支援します。
(ただし、支援は指導教員の所属する部局の方針に基づきます)